

近畿王者2度目頂点へ

# 近畿大会



# 福知山 5年ぶり3度目 成美

主将で4番・水谷 重圧を力に変える

**323開幕出場32校決まる**  
 第91回選抜高校野球大会 (3月23日開幕、甲子園)の出場32校を決める選考委員会は25日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社オーバルホールで開かれ、昨秋の近畿大会で優勝した龍谷大平安(京都)が3年ぶり41度目、同8強の福知山成美は5年ぶり3度目の出場を果たした。組み合わせ抽選は3月15日に行われる。(関係記事4、5画)

龍谷大平安の昨秋公式戦成績

大会・回戦	スコア	相手
京都1回戦	0-5	園芸学園
京都2回戦	7-1	京都府立
京都3回戦	8-6	京都府立
近畿準決勝	14-4	京都市立
近畿決勝	5-2	京都市立
明治1回戦	5-6	明治大学

※数字はイニング

龍谷大平安 1876年創立の私立校。2008年に現校名となる。野球部は1908年創部。27年夏に初出場し春1度、夏3度の優勝を誇るなど歴代2位の101勝(春40、夏61)。主役OBに衣笠祥雄(元広島)、松山進次郎(元阪神)、炭谷銀仁朗(巨人)ら。

ランニングする龍谷大平安ナイフ(撮影・成瀬)

うどん屋のだしをご家庭で

味の手作り...  
**テイステイ**  
 〒581-0016 大阪府八尾市八尾木北2-44  
 TEL: 072-995-1515

**京都勢春夏通算 200勝へあと1**  
 分かっていても、届いた吉報に自然と笑みがこぼれる。近畿王者として臨む平成最後の選抜大会。背負う看板の重さを再確認した龍谷大平安の主将・水谷祥平(外野手、2年)は表情を引き締めた。

「優勝した札幌大会に初戦敗退した昨秋の神宮大会が終わって、もう一度日本一に挑戦しようという話をした。一戦一戦ですが(最終的には)狙っていきたい」

昨夏は甲子園大会における春夏通算100勝という大目標があり、原田英彦監督(58)が先頭に立ってチームを引っ張る形となった。2勝を挙げ史上2校目の偉業を達成したが、新チームの始動が遅れたのも事実。バッテリーもおらず正直、時間がかかったかと思うと、指揮官も苦戦を覚悟したが、

**左腕野沢復調!!近畿大会わずか自責1**  
 昨夏の甲子園では1番を打ち、1回戦の鳥取城北戦でサヨナラの生還を果たし100勝を決めた水谷は、新チームでは4番の重責を担う。プレッシャーはあるが、平安の4番は打って当たり前。力に変えていきますと話す通り、昨秋公式戦10試合で38打数17安打の打率・447、2本塁打、13打点はすべてチームトップの数字をたたき出した。投手陣も、愛らしい太い肩から「おじいちゃん」と原田監督から呼ばれ、昨夏もベンチ入りした左腕野沢(投手、2年)が京都大会の不振から意地を見せ、近畿大会では全4試合に登板し26球で自責1と完璧な投球を披露。「甲子園で抑えるイメージは毎日しています」と自信を見せる。近畿王者として臨んだ過去5度は14年の初優勝を含め8強以上が4度と好成績を残す。京都勢は春夏通算199勝で200勝まで、あと1。節目の数字をクリアして2度目の頂点を目指す。

「昨年に比べ技術はないが(勝たないという)本能がある」と試合ごとに指示を忠実に遂行。京都大会3位から近畿大会に出場すると準々決勝の市和歌山戦では奥村真大内野手(1年)が決勝の明石商で多田龍平捕手(2年)が、それぞれサヨナラ打を放って劇的勝利を飾り5年ぶりに近畿の頂点に立った。



**履正社医療スポーツ専門学校**  
**履正社スポーツ専門学校 北大阪校**

RISEISHA

0120・14・13356